

リサイクルインク事業を通して社会貢献 雇用を促進し働きやすい労働環境を実現

使用済みインクカートリッジを回収して再製品を製造。廃プラスチック削減という社会課題に対して先駆的に取り組み、家庭のみならず全国の自治体との連携により空カートリッジ回収強化。環境に係る消費者の意識向上に伴い、シェア拡大。パートから準社員への登用制度の新設や社内に認可保育園を設置するなど働き方改革も進める。子会社である葬祭会社を通じ県内7市町村と災害協定を結び、グループを挙げて地域貢献を展開。

●所在地 山梨県南アルプス市和泉984-1
●電話/FAX 055-280-8105 / 055-280-8103
●URL <http://www.jit-c.co.jp/>
●代表者 代表取締役 石坂 正人

●設立 1991年
●資本金 10,000万円
●従業員数 157人



傑出した障害者雇用率、社内に認可保育園を設置し、環境整備

ダイバーシティの観点からグループ内NPOを通じ60名以上の障害者を雇用し主要業務に従事。生産活動の多数を占める主婦のため社内に認可保育園を設置し、多様な人材が活躍できる仕組みづくりを実践。特に、障害者雇用については会社単体での雇用率3.3%、グループ全体の雇用率43.6%と傑出している。また、直近5年で結婚や出産を理由に退職した社員はゼロであった(17名中17名)。ほか、インターンシップにより年間100名の学生を受け入れ、これからを担う人材の育成に尽力している。



社内に認可保育園を設置

多能工化と勤務時間柔軟化で生産性向上と労働環境改善を両立

生産性向上のため、生産部門の各従業員のスキルマップを作成、個人別の技能レベルを可視化し、賞与査定と紐づけることで多能工化を促進。また、準社員の勤務開始時間を9時から10時に変更することにより、多様な勤務形態を設けて従業員の活躍可能性を広げ、生産現場における人員投入の柔軟化にも繋げ、生産性向上に寄与している。さらに、「生産前の30分間清掃」を導入し、作業員自身が細部まで掃除し、設備のねじのゆるみや、部品の消耗にも気が付いてもらい、品質維持に役立てる。



ジットリサイクルインクカートリッジ製品

教育関連投資を増強し、多能工の育成に向けた研修を奨励

社内外のさまざまな研修(中小企業大学校主催のものも含む)への参加を奨励すると同時に、受講内容を深く理解するために研修報告会(月に1度)を実施している。期間中、研修に参加した社員が得たこと、研修後の改善の実施事項を発表し、全社員への共有化を図る。なお、同社の教育関連投資は、前決算期が36,951千円であり、前々決算期の21,644千円から大きく増加している。



研修成果を全社員で共有化